

日本国福岡県とベトナム社会主義共和国ハノイ市との
友好・協力関係の更なる強化に関する覚書

日本国福岡県とベトナム社会主義共和国ハノイ市は、2008年2月の友好提携の締結、さらに、2009年10月の関係強化の協議書への合意、署名により、環境、教育、経済など幅広い分野で交流を行い、成果を上げてきたところである。

特に、環境分野では人材育成、教育啓発、技術交流を実施し、青少年・教育分野では高校生の交流や学校間の交流が実施されるなど、密接な関係が構築されているところである。

このような福岡県とハノイ市におけるこれまでの交流実績を踏まえ、両地域及び日本・ベトナム両国の今後の更なる発展と連携強化を目指し、次のとおり合意する。

- 1 環境分野における人材育成、教育啓発、技術交流、産業交流など、良好な生活環境を創出するための交流を推進する。
- 2 青少年交流を積極的に推進し、次代を担う若者同士の理解と友情を更に深める。
- 3 貿易、投資、観光などの経済交流や学術・文化交流を更に積極的に支援する。

両地域が、交流を行うにあたっては、福岡県の国際交流局とハノイ市の外務局を総合窓口とし、具体的な協議については、それぞれの担当部局同士で行うものとする。

本覚書は、2013年8月27日、ハノイ市において日本語及びベトナム語でそれぞれ2通作成され、等しく正文とし、署名の日から効力を生ずる。

福岡県を代表して

小川 洋

福岡県知事
小川 洋

ハノイ市を代表して



ハノイ市人民委員会委員長
グエン・テ・タオ